

# 情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する研究)

西暦2017年 2月28日作成

研究課題名	横浜・横須賀救急医療データベースによる多施設共同観察研究
研究の対象	すべての救急外来・初期診療を受診される患者さんを対象としています。
研究の目的	救急診療では、様々な症状で受診される患者さんへ迅速に対応することが大変重要です。一方で、医療者が対応すべき状況も時代とともに変化してきています。わが国における現代の救急外来における初期診療に必要なことについて、総合的な視点に立って情報発信することを目的としています。
研究の概要	この調査は、横浜市、横須賀市内にある複数の救命救急センターや救急外来で一斉に行われます。この調査研究により、日本における今後の救急外来診療に必要な指針を得ることができます。
研究の方法	すべての救急外来・初期診療を受診される患者さんにおいて、診療録（カルテ）に記載される内容について調査を行います。
研究期間	2017年4月27日から5年間（2022年4月26日）
個人情報保護に関する配慮	患者さん個人を特定できるような情報（氏名、生年月日、電話番号など）は一切使用しません。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方のデータは本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p>	
<p><b>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</b></p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター 岩下 真之 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-253-9913</p>	